

## 1 市 2 町公共交通広域ネットワークについて

## 1 基本的な考え方

下野市は、市民の足の確保及び公共交通空白地域の解消のために、市内においてデマンドバスを運行しているが、近隣においては壬生町で東武線が通り、下野市・上三川町ではJR線があるなか、この東西をつなぐ公共交通路線が通っていない。

1市2町では経済や文化、医療などの密接な関係があるにもかかわらず、公共交通による移動手段がないため、自家用車に依存している状況である。

このため、下野市、上三川町、壬生町1市2町における公共交通ネットワークの構築に向けて、市町を超えた広域バスの実証運行を行うものである。

## 2 運行の概要

平成30年8月、1市2町で構成する「公共交通広域ネットワーク改善検討協議会」を設置し、栃木県のアドバイスもいただきながら、運行ルートや本数、時間帯などの検討を重ねてきたところであり、現時点での運行の概要は、以下のとおりである。

運行ルート： JR石橋駅～東武おもちゃのまち駅～獨協医大病院

JR石橋駅～上三川町ゆうきが丘団地

※運行ルート図は、別紙のとおり

運行本数： 6時～20時の時間帯で、1時間に1本程度

運行開始： 平成31年10月（予定）

運行期間： 実証運行として3年程度を予定し、利用状況を踏まえて本格運行に移行

その他： 詳細な運行ルートやバス停の位置、運賃等は今後調整

## 3 想定される事業効果

下野市民にとって、町外、特に東武線への路線の確保ができるとともに、獨協医大病院などへの移動が可能になる公共交通ネットワークが構築されることで、1市2町のエリアにおける相互交流の活発化が期待できる。

また、地域内の観光施設等とも連携しながら、東京圏等からの訪問者数の増加につなげることで、エリア全体の経済好循環の創出を目指していく。